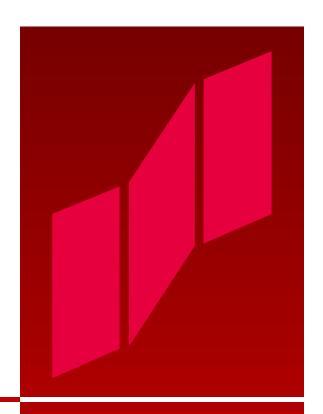
2018年3月期 決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2018年4月27日









[参考資料]

2018年3月期 決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	19
純営業収益・商品販売の状況	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	20
業績の四半期推移	4	営業指標-1	21
株式委託手数料	5	営業指標-2	22
投信募集・ファンドラップ・代行手数料	6	営業指標-3	23
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
(参考資料)銀証合算のリテール運用資産残高について	11		
販売費・一般管理費	12		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	13		
預り資産残高・資産導入額	14		
海外拠点の業績推移	15		
海外ネットワーク	16		
トピックス	17		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2018年4月27日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

- ※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。
- ※ 2018年1月1日にSMBC日興証券とSMBCフレンド証券は合併いたしました。
- ※ 連結・単体の業績いずれも、2018年3月期第3四半期までは旧SMBCフレンド証券の実績を含まず、2018年3月期通期はSMBC日興証券(旧SMBCフレンド証券 合併前)の2018年3月期第3四半期(2017年4月~2017年12月)累計値に、合併後の第4四半期実績(2018年1月~2018年3月)を加えたものです。



2018年3月期 決算サマリー



国内外の株高進行を背景に株式関連収益が伸長したほか、ファンドラップ手数料等の安定収益が拡大し、増収増益 純営業収益はSMBCグループ入り後過去最高

■ 純営業収益3,573億円(前期比+9%) 経常利益949億円(同+19%) 当期純利益(*1)637億円(同+36%)

2018年3月期

■ 株式委託売買代金は32.7兆円(同+23%) 商品販売額合計は10.2兆円(同-1%) 国内債販売額は3.5兆円(同-18%)と減少したが、外債販売額3.0兆円(同+8%)、投信販売額2.8兆円(同+19%)は増加

- 引受手数料は317億円(同-28%) 2017年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー5位(*2)、円債総合・主幹事4位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース7位、案件数ベース1位(*4)
- 販売費・一般管理費は2,676億円(同+7%)
- 2018年3月末の総資産10.6兆円、純資産8,187億円。SMBCフレンド証券との合併もあり、純資産は前期末比大幅増加 自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は447%と安定した財務基盤を維持

2018年3月期 第4四半期

- 純営業収益948億円(前四半期比-3%) 経常利益225億円(同-26%) 当期純利益(*1) 141億円(同-31%)
- 商品販売額合計は2.7兆円(同-0%) 国内債販売額は6,773億円(同-32%)、外債販売額は7,557億円(同+3%)、投信販売額は1兆130億円(同+53%)

経営成績 (単位:億円)	18/3	3期	前四半期比	17/3期	18/3期	前期比
在各成根 (单位: 18日)	3Q	4Q	増減率	17/3舟	10/3舟	増減率
営業収益	1,097	1,046	-5%	3,612	3,974	+10%
純営業収益	976	948	-3%	3,267	3,573	+9%
販売費•一般管理費	682	746	+9%	2,509	2,676	+7%
経常利益	305	225	-26%	800	949	+19%
税金等調整前当期純利益	295	183	-38%	664	889	+34%
当期純利益(*1)	206	141	-31%	469	637	+36%
財政状態	2017年	2018年	前四半期末比	2017年	2018年	前期末比
别以1人思	12月末	3月末	増減額	3月末	3月末	増減額
総資産	11.3兆円	10.6兆円	-0.6兆円	11.6兆円	10.6兆円	-0.9兆円
純資産	5,884億円	8,187億円	+2,302億円	5,442億円	8,187億円	+2,744億円

(*1) 当社株主に帰属する当期純利益

(*2) 出所:THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*3) 出所:THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

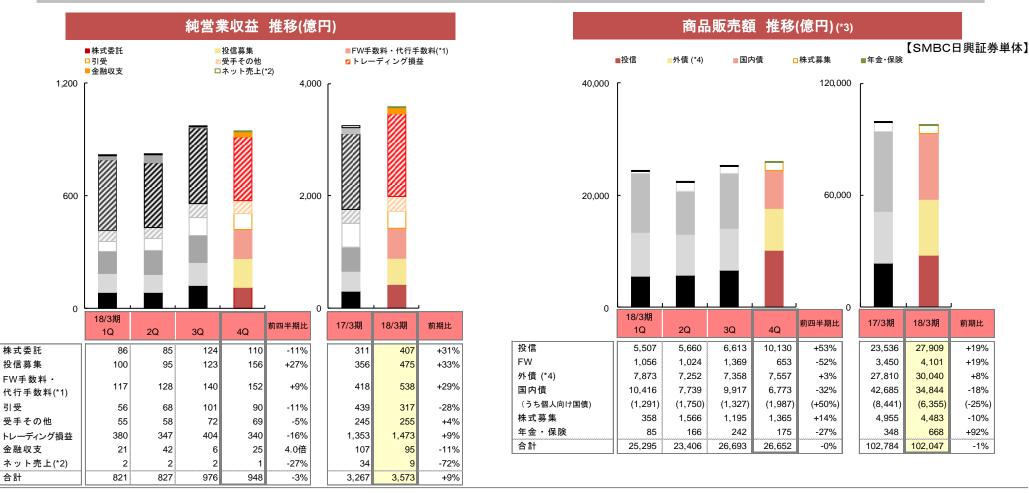
(*4) 出所:THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件



純営業収益・商品販売の状況



- ◇ 第4四半期の純営業収益は948億円(前四半期比-3%)、商品販売額合計は2兆6,652億円(同-0%) 相場調整の影響により株式関連収益を中心に純営業収益は減少したものの、商品販売額はSMBCフレンド証券合併もあり、前四半期と同水準を維持
- ◇ 通期の純営業収益は3,573億円(前期比+9%)、商品販売額合計は10兆2,047億円(同-1%) 純営業収益はSMBCグループ入り後過去最高



^{(*1) 2018}年3月期第1四半期より、ファンドラップ手数料を受手その他からFW手数料・代行手数料へ組み替えて表示(2017年3月期も遡及して変更)。また、代行手数料はカストディーフィーを含む



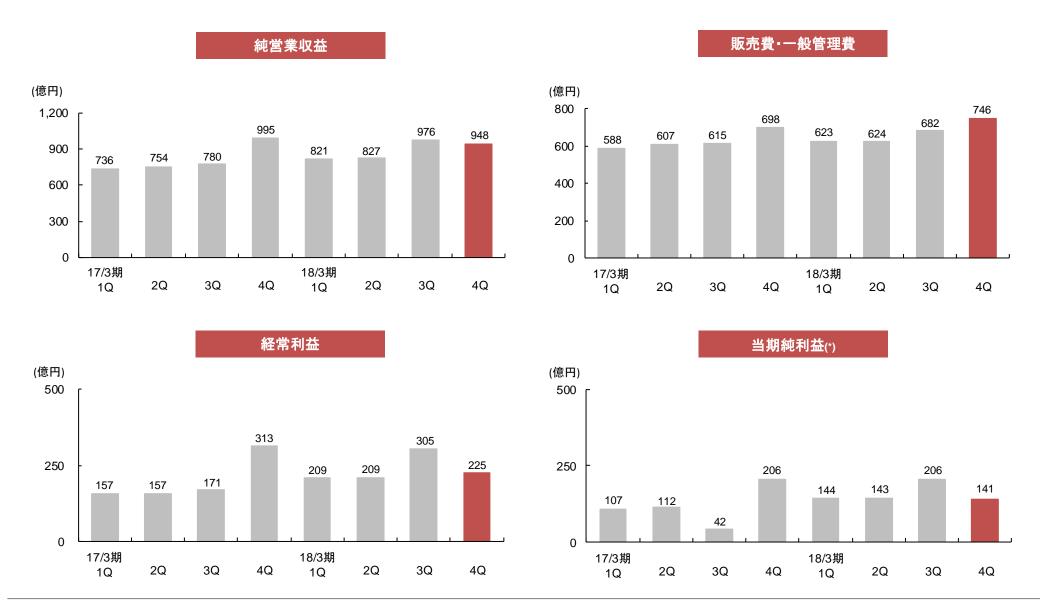
^(*2) 売上高-売上原価

^{(*3) 2018}年3月期第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額へ含めて集計

^(*4) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

業績の四半期推移



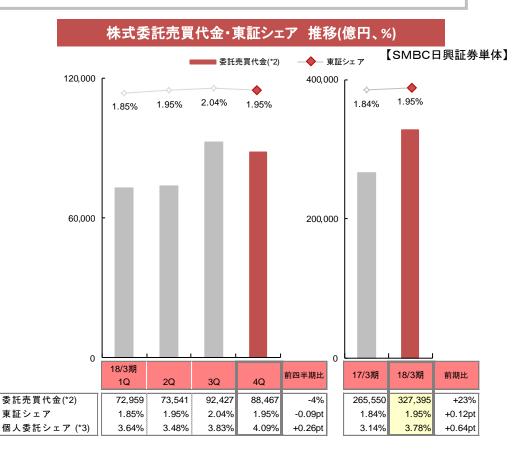


株式委託手数料



- ◇ 第4四半期の株式委託売買代金は8兆8,467億円(前四半期比-4%)、株式委託手数料は110億円(同-11%) 期中の相場環境の悪化により、売買代金・委託手数料は共に減少
- ◇ 通期の株式委託売買代金は32兆7,395億円(前期比+23%)、株式委託手数料は407億円(同+31%)

株式委託手数料 推移(億円) 150 500 75 250 18/3期 前四半期比 17/3期 18/3期 前期比 1Q 2Q 3Q 4Q 86 124 110 -11% 311 +31% 委託手数料率(*1) 10.8bp 10.6bp 12.3bp 11.7bp - 0.6bp 10.3bp 11.4bp 1.1bp





株式委託

^(*1) 調整後株式委託手数料÷株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)

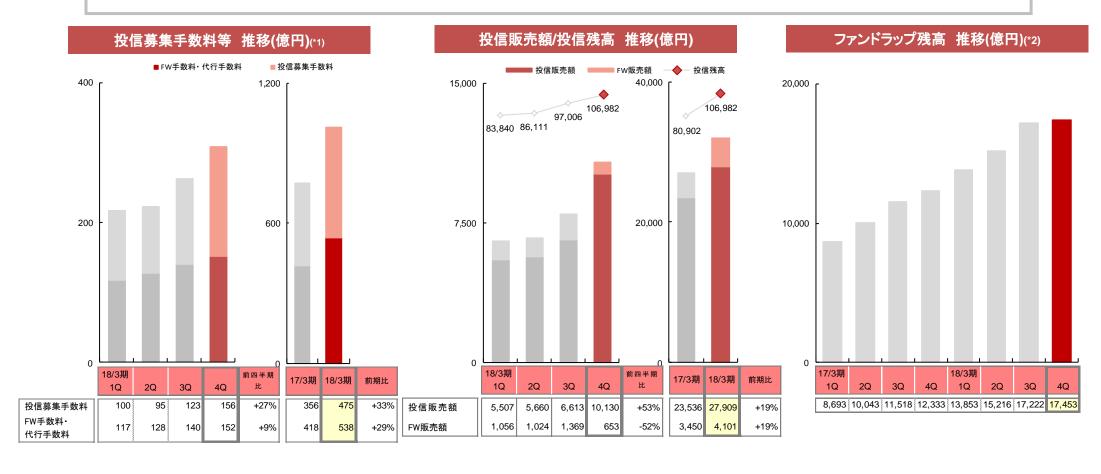
^(*2) 集計対象は全市場

^(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

投信募集・ファンドラップ・代行手数料



- ◇ 第4四半期の投信販売額は1兆130億円(前四半期比+53%)、投信募集手数料は156億円(同+27%) SMBCフレンド証券との合併に伴う営業基盤の拡大により、株式投信の販売が増加
- ◇ 通期の投信販売額は2兆7,909 億円(前期比+19%)、投信募集手数料は475億円(同+33%) 良好な相場環境を背景に株式投信の販売が増加し、募集手数料は増加。ファンドラップ手数料・代行手数料も538億円(同+29%)と順調に増加



^{(*1) 2018}年3月期第1四半期よりファンドラップ手数料を含めて表示。代行手数料はカストディーフィーを含む



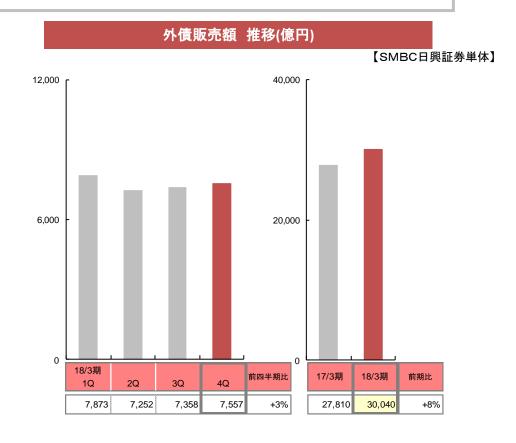
^(*2) ファンドラップ残高は当社における預り残高を集計

トレーディング損益



- ◇ 第4四半期のトレーディング損益(金融収支調整後)は361億円(前四半期比-11%) 期中の相場環境の悪化により株券等トレーディング損益は減少。外債販売は引き続き高い水準で推移し、前四半期と同水準
- ◇ 通期のトレーディング損益(金融収支調整後)は1,550億円(前期比+8%)

トレーディング損益(金融収支調整後) 推移(億円) ■債券等・その他(*2) ■株券等(*1) 2,000 600 300 1,000 18/3期 17/3期 18/3期 前四半期比 前期比 1Q 3Q 4Q 148 101 -32% 270 448 1.7倍 103 (9) (47)(13) (28)2.2倍 (100)(99)(-1%) 債券等・その他(*2) 301 283 258 260 +1% 1,170 1,102 -6% (6) (-8)(-11)(-8)(-13)(-22)(-) (-) 396 386 406 361 -11% 1.440 1,550 +8%



株券等(*1)

(うち配当等)

(うち利子)

合計(*3)



[・]配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示

^(*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)

^(*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む

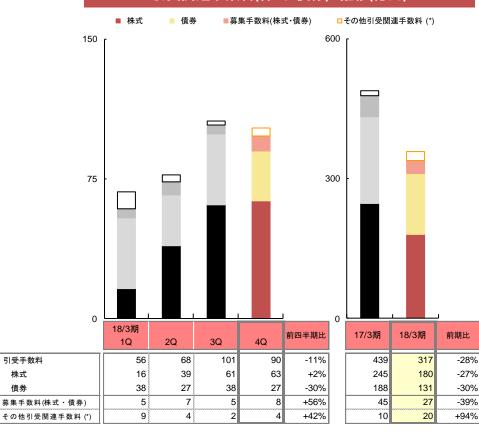
^(*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

引受関連手数料 (株式・債券)



- ◇ 第4四半期の引受手数料は90億円(前四半期比-11%)
- ◇ 2017年度 グローバル株式・株式関連・日本・ブックランナーは5位(シェア11.4%)、新規公開株式引受は案件数ベース(主幹事)3位・引受金額ベース4位、 円債総合・主幹事は4位(シェア17.2%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)



グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(*2) 2017年度

順位	ブックランナー	引受金額	シェア
		(億円)	(%)
1	野村	11,137	24.2%
2	大和	8,632	18.7%
3	みずほ	6,686	14.6%
4	三菱UFJモルガン・スタンレー	5,949	13.0%
5	SMBC日興	5,246	11.4%

新規公開株式引受(*3) 2017年度

【室仏数ベース】

	【木丁玖、 へ】		K.	刀又亚银、 入(单位:18)	1)2
順位	主幹事	件数	順位	引受金額	金額
1	野村	20	1	野村	1,138
2	みずほFG	17	2	大和証券グループ本社	1,091
3	三井住友FG	15	3	モルガン・スタンレー	791
4	大和証券グループ本社	13	4	三井住友FG	655
5	SBIホールディングス	6	5	みずほFG	573

円債総合-主幹事(*4) 2017年度

【SMBC日興証券単体】

【引受金額ベース(単位・佐田)】

順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー	35,861	20.0%
2	みずほ	35,576	19.9%
3	野村	33,898	18.9%
4	SMBC日興	30,846	17.2%
5	大和	29,099	16.2%



^(*1) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

^(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

^(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

^(*4) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)



◇ 2017年度 M&Aリーグテーブルは248件を獲得し、取引金額ベースで7位(占有率9.1%)、案件数ベースで1位(同6.4%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2017年度

順位	アドバイザリー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	野村	67,668	31.3%
2	モルガン・スタンレー	64,032	29.7%
3	ゴールドマン・サックス	53,130	24.6%
4	クレディ・スイス	32,406	15.0%
7	三井住友フィナンシャルグループ	19,663	9.1%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2017年度

順位	アドバイザリー	案件数	占有率 (%)
1	三井住友フィナンシャルグループ	248	6.4%
2	みずほフィナンシャルグループ	218	5.7%
3	野村	108	2.8%
4	Kaede Group	60	1.6%
5	KPMG	54	1.4%

主なM&Aの公表案件 2017年度

HKEホールディングス合同会社 (Kohlberg Kravis Roberts& Co. L.P.) / 日立国際電気

KKRが管理・運営を行う投資ファンドであるKKR HKE Investment L.P.が出資する HKEホールディングスは、日立製作所の子会社で ある日立国際電気の完全子会社化を目的とした 公開買付けを実施

(当社はKKRのアドバイザー及び HKEホールディングスの公開買付代理人)

トヨタ自動車 / マツダ

トヨタ自動車とマツダは、業務資本提携に関し合意。ト ヨタはマツダに対し自己株式の処分により株式を割り 当て、マツダは新株を割り当て、相互に株式を取得 (当社はマツダのアドバイザー)

三菱商事 / 三菱自動車工業

三菱商事は、完全子会社であるMAIを通じて、 三菱自動車工業の普通株式を 公開買付けにより取得することを決定 (当社は三菱商事のアドバイザー及び MAIの公開買付代理人)

沢井製薬

/ Upsher-Smith Laboratories

沢井製薬は、米国のジェネリック医薬品メーカーであるUpsher-Smith Laboratories, Inc.の全持分を、新たに設立した米国子会社を通じて取得することを決定

(当社は沢井製薬のアドバイザー)

東海カーボン / SGL GE Holding GmbH(昭和電工)

昭和電工は、独SGL GE Holdingの米国事業を 東海カーボンに譲渡 (当社とMoelisは昭和電工の協働アドバイザー)

Kao USA Inc.(花王) / Oribe Hair Care, LLC

花王は、米子会社花王USA Inc.を通じて、米の Oribe Hair Careを買収 (当社とSMBC日興セキュリティーズ・アメリカは 花王の単独アドバイザー)



個人のお客様 (口座数) (*2)

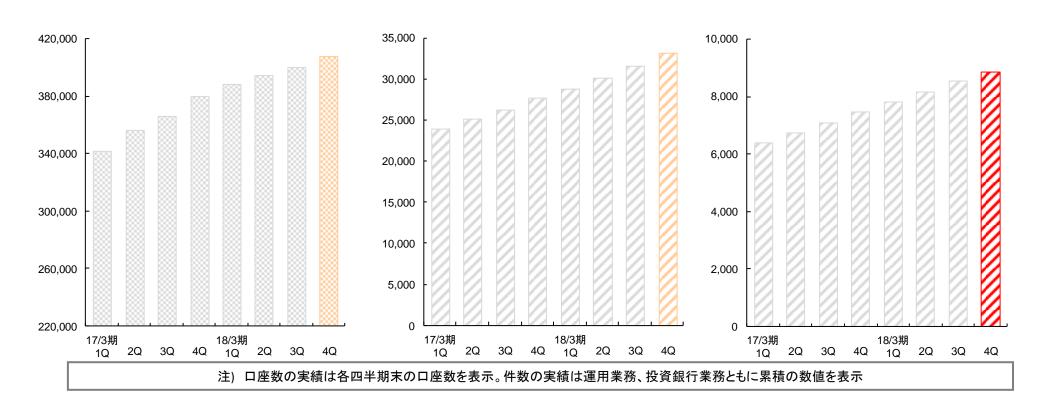
◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

運用業務 (お客様紹介業務・金融商品仲介業務(*1))

法人のお客様 (累積件数) (*3)

投資銀行業務 (お客様紹介業務)

法人のお客様 (累積件数)



^(*1) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務: 当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う



^(*2) SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の 各四半期末時点の口座数

^(*3) SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について



◇ リテールにおける、銀証合算の運用資産残高は増加傾向

リテール銀証運用資産残高増減額 (*1) (億円) (億円) +6,000+40,000■■ 運用資産残高増加額 (左軸) +5,000──運用資産残高増加額 (累計(*2)、右軸) +30,000+4,000+3,000+20,000+2,000+10,000+1,000+0 +0 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 16/3期 17/3期 18/3期

リテール銀証運用資産残高 (*3) (億円) 550,000 ■日興(*4) ■銀行 500,000 450,000 400,000 350,000 300,000 250,000 200.000 16/3期 2Q 3Q 4Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 1Q



^(*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

^{(*2) 2014}年3月期第1四半期からの累計値

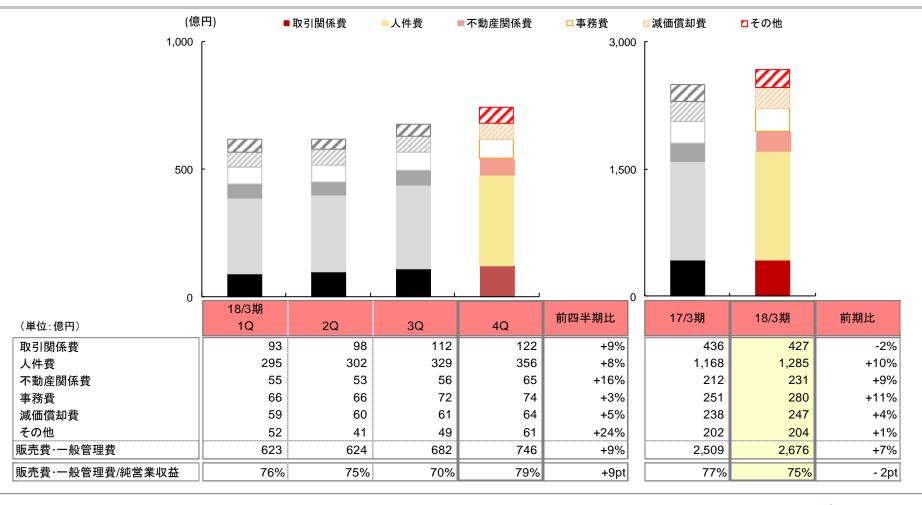
^(*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人以外含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

^{(*4) 2016}年3月期第1四半期から2018年3月期第3四半期は、旧SMBCフレンド証券を含む

販売費•一般管理費



- ◇ 第4四半期の販売費・一般管理費は746億円(前四半期比+9%)。SMBCフレンド証券との合併により増加
- ◇ 通期の販売費・一般管理費は2,676億円(前期比+7%)。業績に連動する人件費を中心に増加



連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況



- ◇ SMBCフレンド証券との合併もあり、純資産は大幅増加
- ◇ 基本的項目の増加により、自己資本規制比率は前期末比116pt増加

(単位:億円) 17年3月末 18年3月末 前期末比増減 流動資産 114,291 103,798 -10,493 トレーディング商品 40,583 31,797 -8,785 有価証券担保貸付金 52,331 50,277 -2,054 その他 21,376 21,723 +346 固定資産 2,583 3,118 +535 有形固定資産 253 273 +19 無形固定資産 784 742 -42 投資等その他の資産 1,544 2,103 +558 資産合計 116,874 106,916 -9,957 流動負債 103,549 90,795 -12,753 トレーディング商品 25,715 24,946 -768 有価証券担保借入金 54,441 50,060 -4,381 短期借入金/CP 14,384 7,298 -7,086 その他 9,008 8,490 -517 固定負債·準備金 7,882 7,933 +51 負債合計 111,431 98,729 -12,702 純資産 5,442 8,187 +2,744 負債·純資産合計 116,874 106.916 -9,957

【SMBC日興証券単体】

(単位:億円)	17年3月末	18年3月末		
(辛位:总门)	17年3万本	10年3万本	前期末比増減	
基本的項目	4,961	7,357	+2,396	
補完的項目	1,179	1,491	+311	
控除資産	1,586	1,660	+73	
固定化されていない自己資本	4,554	7,188	+2,633	
リスク相当額	1,376	1,609	+232	
市場リスク	571	624	+53	
取引先リスク	213	242	+29	
基礎的リスク	592	742	+149	
自己資本規制比率	331%	447%	+116pt	

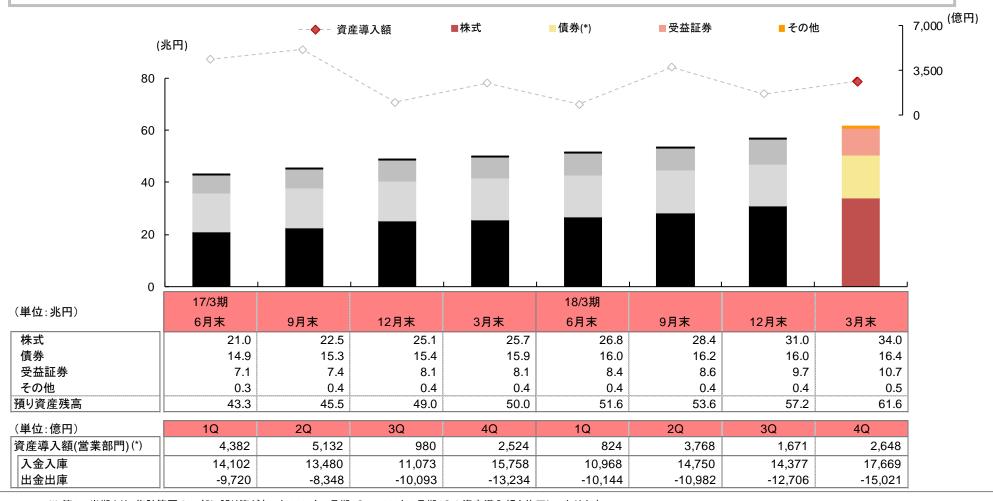
長期格付 (2018年4月27日現在) 【SMBC日興証券単体】

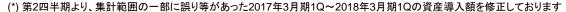
Moody's	S&P	R&I	JCR
A1	Α	AA-	AA
[安定的]	[ポジティブ]	[安定的]	[安定的]





- ◇ 2018年3月末の預り資産残高は61.6兆円(前四半期比+8%) SMBCフレンド証券との合併のほか、継続的な基盤拡大の取り組みにより、前期末比23%増と大きく増加
- ◇ 第4四半期の営業部門の資産導入額は2.648億円





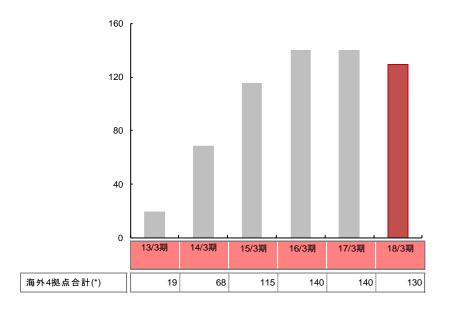


海外拠点の業績推移

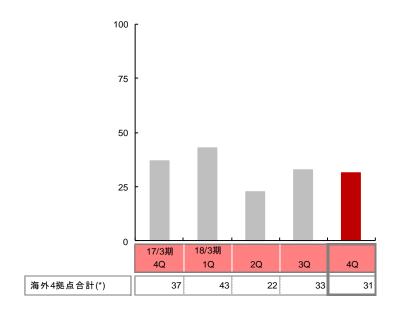


- ◇ 第4四半期の収支(内部管理ベース)は31億円(前四半期比-4%)
- ◇ 国内外の発行体による海外資金調達の増減に影響を受けるが、収支(内部管理ベース)は堅調に推移

収支(内部管理ベース) 年度推移(億円)



収支(内部管理ベース) 四半期推移(億円)





^(*) 海外4拠点合計は、下記の合計値

[✓] 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支

[✓] 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及び SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)80.00%)の収支

海外ネットワーク





提携先(アジア)

KB証券 (本社:ソウル)

- M&Aアドバイザリー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)
- M&Aアドバイザリー業務及びDCM業務を中心とした業務提携
- ペトロベトナム証券(本社:ハノイ)
- 海外進出支援等を中心とした業務提携
- ファトラ証券(本社:バンコク)
- M&Aアドバイザリー及びDCM/ECM業務における提携
- コタック・マヒンドラ・グループ(本社:ムンバイ)
- M&Aアドバイザリー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

シティグループ(本社:ニューヨーク)

- 多様な分野でワールドワイドに業務協働
- モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)
- M&Aアドバイザリー業務を中心とした業務提携
- BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)
- M&Aアドバイザリー業務を中心とした業務提携



トピックス

健康経営の推進について

- 社員の健康増進を経営課題の一つと捉え、社員とその家族の健康保持及び増進を図るため本年4月1日付で「健康経営宣言」を制定いたしました。また、健康経営をより確かに推進するため、同日付でCHO(ChiefHealth Officer:健康管理最高責任者)を選定いたしました。
- 経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人認定制度」において、健康経営に取り組む優良な法人として「健康経営優良法人2018(ホワイト500)」に認定されました。



初任給の引き上げについて

■ 本年7月より、採用競争力の強化と優秀な人材の確保を目的として、初任給の引き上げを実施いたします。引き上げ後の初任給は、全国転勤型のクラス II Aコースが28.7万円、地域限定型のクラス II Cコースが26.7万円となります。また併せて入社2年目の給与水準の引き上げも実施いたします。

米国株式テクノロジーセクターの情報提供サービスを拡充

■ リテールのお客さまを対象とした米国株式の情報提供サービスにおいて、 テクノロジーに特化した、米国の独立系調査会社であるLoup Ventures(ループ ベンチャーズ)社と国内独占契約を締結いたしました。

アナリストランキング

■ Institutional Investor「2018All-Japan Research Team」の企業別ランキングにおいてチームランキングでは4位(前年3位)アナリストランキングでは3位(前年3位)にランクイン業種別において、6チームがトップチームに選出(前年3チーム)

自動車部品 松本 邦裕REIT 鳥井 裕史鉄鋼 山口 敦

• 不動産、住宅 田澤 淳一 川嶋 宏樹

商社 森本 晃運輸 長谷川 浩史

■ 日経ヴェリタス「第30回アナリストランキング」の会社別順位において4位 にランクイン(前年3位)

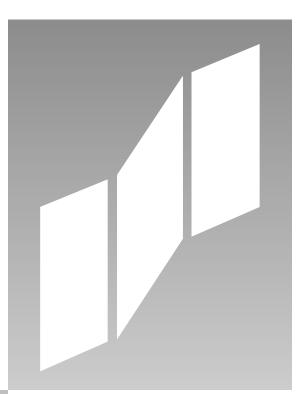
業種・部門別において、アナリスト4名がトップアナリストに選出(前年2名) 運輸のトップアナリストの長谷川は、全セクターで最年少の選出

自動車部品 松本 邦裕
REIT 鳥井 裕史
商社 森本 晃
運輸 長谷川 浩史

■ 日経ヴェリタス「第23回債券・為替アナリスト エコノミスト人気調査」の 会社・グループ別順位において3位にランクイン(前年4位) 部門別において、アナリスト2名がトップアナリストに選出(前年1名)

債券アナリスト 森田 長太郎証券化アナリスト 宮坂 知宏





参考資料







四半期損益推移 (連結)



			17年3月期					18年3月期		
(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
営業収益	81,013	82,070	87,298	110,849	361,232	91,483	91,543	109,773	104,605	397,405
受入手数料	35,335	42,582	40,261	58,983	177,163	41,726	43,495	56,257	57,984	199,464
委託手数料	7,390	6,753	10,167	9,136	33,447	9,165	8,821	12,822	11,785	42,595
引受け·売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	7,518	12,182	6,237	18,061	43,999	5,659	6,820	10,180	9,078	31,739
募集·売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	7,529	9,192	8,854	14,687	40,263	10,656	10,304	12,948	16,585	50,495
その他の受入手数料	12,898	14,452	15,002	17,098	59,452	16,243	17,549	20,306	20,534	74,633
トレーディング損益	36,757	27,294	35,706	35,621	135,379	38,008	34,770	40,493	34,057	147,329
株券等	4,313	161	5,756	6,741	16,972	8,568	5,569	13,506	7,234	34,879
債券等・その他	32,444	27,132	29,950	28,880	118,407	29,439	29,200	26,987	26,823	112,450
金融収益	5,385	8,511	7,633	10,731	32,262	9,600	10,988	10,669	9,740	40,998
売上高	3,534	3,683	3,696	5,512	16,426	2,148	2,288	2,352	2,822	9,611
金融費用	4,653	4,101	6,269	6,506	21,530	7,462	6,769	10,025	7,156	31,414
売上原価	2,674	2,547	2,943	4,767	12,932	1,856	2,057	2,090	2,631	8,636
純営業収益	73,685	75,422	78,085	99,576	326,769	82,164	82,716	97,657	94,816	357,354
販売費•一般管理費	58,814	60,720	61,599	69,830	250,965	62,353	62,418	68,254	74,637	267,664
営業利益	14,870	14,701	16,485	29,745	75,804	19,811	20,297	29,402	20,178	89,690
経常利益	15,750	15,750	17,195	31,368	80,064	20,960	20,938	30,531	22,552	94,982
特別損益	-497	298	-11,277	-2,103	-13,578	-372	-517	-931	-4,210	-6,032
税金等調整前当期純利益	15,252	16,049	5,917	29,265	66,485	20,587	20,420	29,599	18,342	88,950
法人税等	4,499	4,760	1,632	8,635	19,526	6,093	6,054	8,918	4,169	25,237
当期純利益	10,753	11,289	4,285	20,630	46,958	14,493	14,365	20,681	14,172	63,712
親会社株主に帰属する当期純利益	10,750	11,281	4,279	20,631	46,943	14,491	14,365	20,677	14,170	63,705



四半期損益推移 (SMBC日興証券)



	17年3月期				18年3月期					
(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
営業収益	75,119	75,977	80,448	102,913	334,458	86,651	86,282	104,225	98,857	376,016
受入手数料	33,132	40,334	37,326	56,737	167,530	39,243	40,737	53,276	55,292	188,550
委託手数料	6,679	6,081	9,155	8,606	30,522	8,449	8,149	12,055	11,324	39,978
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	7,518	12,182	6,237	18,061	43,999	5,659	6,820	10,180	9,078	31,739
募集·売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	7,459	9,178	8,834	14,633	40,105	10,594	10,281	12,925	16,485	50,286
その他の受入手数料	11,475	12,892	13,098	15,435	52,902	14,540	15,485	18,114	18,404	66,545
トレーディング損益	36,757	27,294	35,706	35,619	135,377	38,006	34,770	40,492	34,056	147,326
株券等	4,313	161	5,756	6,741	16,972	8,568	5,569	13,506	7,234	34,879
債券等・その他	32,444	27,132	29,950	28,878	118,405	29,437	29,200	26,985	26,822	112,446
金融収益	5,228	8,349	7,416	10,556	31,550	9,401	10,773	10,456	9,508	40,140
金融費用	4,535	3,987	6,123	6,342	20,988	7,315	6,609	9,856	7,010	30,792
純営業収益	70,584	71,990	74,325	96,570	313,470	79,336	79,672	94,368	91,846	345,223
販売費•一般管理費	57,762	59,099	59,207	68,349	244,418	61,189	60,978	65,815	72,349	260,333
営業利益	12,821	12,890	15,118	28,221	69,051	18,146	18,693	28,552	19,497	84,890
経常利益	13,097	13,402	15,115	28,937	70,551	18,348	19,228	28,764	21,155	87,497
特別損益	-500	302	-11,277	-1,926	-13,402	-372	-517	-943	-4,464	-6,298
税引前当期純利益	12,596	13,704	3,837	27,010	57,149	17,975	18,710	27,821	16,691	81,199
法人税等	3,887	4,234	1,209	8,384	17,716	5,460	5,676	8,571	3,736	23,444
当期純利益	8,709	9,470	2,628	18,625	39,433	12,515	13,034	19,249	12,954	57,754







◇主要商品販売額			17年3月期					18年3月期		
(単位:億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
投資信託	5,619	5,832	5,606	6,479	23,536	5,507	5,660	6,613	10,130	27,909
(株式投資信託)	(3,928)	(4,713)	(4,200)	(5,124)	(17,964)	(4,537)	(4,620)	(5,420)	(8,595)	(23,172)
(外国籍投資信託)	(684)	(805)	(745)	(1,083)	(3,318)	(711)	(883)	(1,028)	(1,366)	(3,989)
ファンドラップ	748	931	921	849	3,450	1,056	1,024	1,369	653	4,101
外債 (*1)	6,570	6,388	6,904	7,948	27,810	7,873	7,252	7,358	7,557	30,040
(外貨建て債券)	(2,140)	(2,198)	(2,399)	(2,022)	(8,759)	(2,212)	(2,566)	(1,534)	(2,265)	(8,576)
国内債	10,218	13,578	7,948	10,941	42,685	10,416	7,739	9,917	6,773	34,844
(個人向け国債)	(1,320)	(1,844)	(1,783)	(3,494)	(8,441)	(1,291)	(1,750)	(1,327)	(1,987)	(6,355)
株式募集	511	1,175	888	2,380	4,955	358	1,566	1,195	1,365	4,483
年金·保険商品	100	43	116	89	348	85	166	242	175	668
主要商品販売額合計(*2)	23,765	27,949	22,384	28,687	102,784	25,295	23,406	26,693	26,652	102,047

^(*1)外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

◇マーケットシェア	17年3月期				18年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
株式引受 グローバル株式 (*1)	19.9%	19.3%	18.6%	19.0%	9.9%	6.2%	8.6%	11.4%	
債券引受 円債総合 (*2)	20.4%	18.2%	16.8%	17.2%	19.5%	16.1%	16.9%	17.2%	
M&A 日本企業関連 (*3)	6.7%	14.7%	15.0%	14.3%	14.8%	9.1%	9.1%	9.1%	

(*1) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

(*2) 円債総合·主幹事

(*3) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERS



^{(*2)2018}年3月期第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額へ含めて集計



◇ダイレクトチャネル比率 (*1)

	17年3月期				18年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
約定件数ベース	92.9%	92.4%	91.1%	90.9%	92.2%	91.1%	90.7%	91.3%	
(日興イージートレード)	(89.0%)	(88.8%)	(86.5%)	(86.7%)	(88.1%)	(87.1%)	(86.2%)	(86.8%)	
手数料ベース	38.0%	28.3%	33.5%	24.9%	26.7%	24.4%	27.6%	26.5%	
(日興イージートレード)	(26.2%)	(19.8%)	(22.6%)	(17.0%)	(17.7%)	(16.1%)	(17.8%)	(16.8%)	

^(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式·CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率。

◇売買代金·手数料率 (*2)

	17年3月期				18年3月期			
(単位:億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
株式委託売買代金	61,785	62,264	71,979	69,522	72,959	73,541	92,427	88,467
株式委託手数料(*3)	66	63	94	87	86	85	124	110
単純平均委託手数料率	9.4bp	8.9bp	11.5bp	11.1bp	10.8bp	10.6bp	12.3bp	11.7bp

^(*2)株式委託売買代金・委託手数料率は現物及び信用取引を集計対象としている。

(*3)連結ベース



営業指標-3



【SMBC日興証券単体】

◇口座数	17年3月期				18年3月期			
(単位:千口座)	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3
総口座数	2,739	2,759	2,775	2,801	2,813	2,829	2,838	3,327
証券総合口座数	2,405	2,426	2,446	2,473	2,486	2,500	2,512	2,851
新規登録口座数	33	39	37	42	31	30	30	41

【SMBC日興証券単体】

◇店舗数	17年3月期				18年3月期				
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	
国内店舗数	123	124	124	124	124	124	123	148	

◇人員数	17年3月期				18年3月期				
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	
人員数	10,352	10,325	10,198	10,112	10,698	10,559	10,456	11,987	
海外4拠点人員数	443	457	467	480	491	524	556	579	

^(*) 海外4拠点人員数は、下記の合計人員数



[/]ルストールが入り入れた。 ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の人員数 ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

